

第44回 KITライフサイエンスセミナー



演者 岸川 淳一

京都工芸繊維大学大学院・工芸科学研究科
応用生物学系・構造生物工学分野・准教授

クライオ電子顕微鏡で明らかになってきた ATP合成酵素の反応機構

日時 7月24日（月）14:30-15:30

会場 京都工芸繊維大学 60周年記念館 1階 記念ホール

対象 教員，学生，一般の方

近年の技術革新により、クライオ電子顕微鏡を用いた構造解析の分解能は飛躍的に向上した。単粒子解析という手法では、蛋白質の結晶化が必要ではないため、これまで結晶化が困難であった「巨大な複合体」や「動く蛋白質」の構造解析が可能となってきた。

本セミナーでは、「動く蛋白質」の1つであるATP合成酵素の構造解析によってわかってきた反応機構についての最新の知見を交えてを紹介する。また、演者がこれまで行ってきたタンパク質の構造解析の事例についても紹介したい。

